

仮訳

## 2022年半ばに COVID-19 ワクチンの接種率 70%を達成するために COVAX の IAVG（独立したワクチンの分配検証グループ） 声明

2021年12月23日

世界的な急務として、すべての国において COVID-19 ワクチン接種率 70%を達成させる

COVAX が確保するワクチン総供給量は 2022 年も引き続き大幅に増加することが予測されるため、この目標の達成に COVAX が貢献する機会はより増えるであろう。ワクチンメーカー、ワクチン生産国、およびワクチン接種率の高い国は、ワクチンに関する公平性と透明性の確保を優先し、製造能力や供給スケジュールに関する情報、ならびにワクチンの入手計画を COVAX と共有しなければならない。

すべての国が高い緊急性をもって COVAX と協働し、増加するワクチン供給を戦略的かつ最大限に活用する。

すなわち、ワクチン接種率の高い国では、国内目標と国際目標の両方を考慮した、相補的な「デュアルトラック」アプローチを確立する必要があるだろう。

誰がワクチン接種を受けるのかということにより大きな注意が払われなければならない。すべての国において、公平性の確保を大原則としつつ真っ先に優先されるべきことは、すべての成人および青年に対して、WHO が推奨する段階的な方法で初回接種シリーズを実施することである。これらの集団においても、初回接種を必要とする人の割合は依然として高い。一方、オミクロン株に対抗するために必要とされるワクチン接種の反応の程度、ブースター接種の必要性、および小児への接種の必要性についての知見が蓄積されてきており、COVAX におけるワクチン分配の意思決定にも、それらに基づく推奨事項を考慮に入れる必要がある。

IAVG は、人道的危機にある人々を含む脆弱な人々へのワクチン接種が行われない場合の世界的な健康上および疫学上の影響を考慮し、COVAX が引き続きすべてのワクチンメーカーおよび国々と協力し合い、これらの人々へのワクチンの供給と接種率を速やかに増加させるよう働きかけることを推奨する。

すべての国が各国固有のニーズを満たすように COVID-19 ワクチンの安定的かつ予測可能な供給を受けられるようにする。要支援国では、阻害要因となる対応能力の問題への対処

に注意を払う必要がある。

これには、ワクチンの保管、配送、投与、記録保持のための支援などが含まれるが、その要因の一つとして、競合する保健衛生やワクチン接種に関する問題が危機的状況となっていることが考えられる[3]。COVAX のパートナー、ドナー、参加者のすべてが密接に連携することが重要となるであろう。

COVID-19 ワクチンの需要を拡大するためには、世界、国、地域が一体となった継続的なリーダーシップの下で、ワクチンに関する誤った情報に対処する必要がある。

## 背景

COVAX の初期目標は、まず接種率 3%を達成した後、COVAX が確保したワクチンを用いて 2021 年末までにワクチン接種率 20%を達成することであった[4]。その後、これらの目標は世界的に拡大され、WHO は 2021 年 10 月に、「2022 年半ばまでに全世界で COVID-19 ワクチン接種を達成するための戦略」を発表した[5]。この新たな世界的戦略の目標は、2021 年末までに総人口の 40%、2022 年半ばまでに総人口の 70%に対してワクチンを接種するというものである。ただし、この数字は COVAX だけではなく、すべての国からのワクチン供給を前提としたものである。それでも COVAX は、公正かつ公平な方法で、この接種率目標を達成するための取り組みに可能な限り貢献していくだろう。

これらの目標はいずれも未達成である。98 の国では、未だにワクチン接種率が 40%に達していない。直ちにワクチン接種を受ける必要がある対象者は約 14 億人に上ると推定されており[6]、その多くが死亡や重症化のリスクが最も高いグループに属している。このような格差は低所得国および低中所得国（LICs および LMICs）で最も顕著であり、COVID-19 ワクチンの入手を COVAX に高く依存しているワクチン事前買取制度（AMC）参加国 89 カ国のうち、34 カ国が 40%の接種率目標を達成していない[7]。その主な理由は、COVAX へのワクチン供給が、2021 年の最終四半期まで著しく制限されていたことにある。今後数ヵ月の間により多くのワクチンが利用可能になることが予想されるが、供給量の増加は多くの場合、資源の乏しい国において対応能力の問題を生じさせることになる。この対応能力の問題とは、ワクチンを受領、保管、配送、投与する能力（例えば、訓練を受けた医療従事者やワクチン接種施設の不足など）や、ワクチン使用状況を記録する能力、医療廃棄物処理能力の不足などである。

2022 年半ばまでにすべての国で人口の 70%にワクチンを接種するという目標の達成を阻害するもう一つの要因は、ワクチンに関する誤った情報が拡散し、人々の間にワクチン忌避の広まりがワクチン接種を躊躇することにより、ワクチン需要が伸びなくなることであろう。

## 課題

ワクチンの世界供給量における **COVAX の寄与** - COVAX の当初の目標は、現在の COVAX ファシリティ参加国 162 カ国のすべてに公平にワクチンが行き渡るようにすることであり、IAVG の当初の役割は、すべての参加国を対象としたワクチン配分決定 (VAD) 案を検証することであった。多くの高所得国 (HICs) は、COVAX の枠組みを迂回してワクチン供給者と直接契約を結び、製薬会社はワクチンを COVAX に優先的に納入するという契約義務に従わなかったため、その供給量は著しく減少し、極めて予測不可能な状況に陥った。さらに、ワクチン接種率の高い国は、COVAX を介さず、接種率の低い国や低所得国に直接ワクチンを寄贈するようになった。補償や賠償責任に関する制約も、最も脆弱な立場にある人々がワクチン入手する上での障壁となっている。IAVG がこれまでに検証したワクチン配分は、全世界で投与された約 80 億回分のワクチンのうちの 7 億 3 千万回分に過ぎず、割合としては 10%にも満たない。

さらに、COVAX を介して寄贈されるワクチンの多くは供給先の国が指定されており、低所得国への公平・公正なワクチン供給という目標の達成を困難にしている。

ワクチンの配分に関して、COVAX は最近、限られたワクチン供給の対象を、COVID-19 ワクチンの入手を COVAX のみに依存していると思われる推定接種率の低い国に限定しているが、IAVG もこれを可能な限り推奨・追認している。

**COVAX へのワクチン供給の予測不可能性 - 1) 調達量** - COVAX を通じたワクチンの分配に関わる人々は、利用可能なワクチンの割り当ておよび再割り当てに最善を尽くしてきたが、供給状況が予測不可能であることがこのシステムを疲弊させ、参加国の不満を募らせ、IAVG の配分決定を形骸化する結果となっている。さらに、COVAX との事前買取契約 (APA) に基づく想定供給量が、必ずしもワクチン生産者から契約上の義務に基づいて提供されていないという現状もある。**2) 寄贈量** - 同様に高所得国が約束しているワクチンの寄贈に関しても、実施が遅れたり、予測不可能であったりするケースが多い。COVAX への寄贈によってワクチンが利用可能になったとの突然の発表の後に、臨時のワクチン配分が行われたことが何度もあった。さらに具合が悪いことに、このように突然寄贈されるワクチンには、有効期限の短い製品が含まれていることもある。このような土壇場での奔走は取引コストを大幅に増加させるものであり、すでに深刻な資源不足という問題を抱え、さまざまな保健衛生上および人道上の問題に対処している国に大きなストレスを与えており、参加国における配分されたワクチンの受領・使用計画を策定する能力を圧迫している。このような突然のワクチン配布は、物流面の問題を生じさせただけでなく、一般市民へワクチン情報を提供しようとする各国の取り組みや、SNS で拡散された誤情報に対抗するための情報伝達などを阻害する結果となった。

このようなビジネスのやり方は許容されるものではなく、終わりにしなければならない。

**国家間および国内における不公平** - COVID-19 ワクチン世界戦略[8]では、死亡者数、重症者数、および総合的な疾病負担を最小限に抑え、新たな変異体の出現リスクを低減するという当面の目標を達成するために必要な段階的なプロセスが明確に示されている。高齢者やリスクの高い人々、すべての成人、および青年は段階的に優先順位をつけられているが、ワクチン使用を推奨する対象をさらに拡大すべきかどうかは、未だ検討中である。例えば、現在、全世界で実施されているブースター接種の投与回数は、低所得国における初回接種シリーズの投与回数の 15 倍に相当する[9]。2021 年 10 月、WHO をはじめとする多くの関係団体[10]は、119 カ国のデータから、2021 年 9 月までに保健医療・介護従事者（HCW）の平均して 5 人に 2 人がワクチン接種を受けていたが、地域間および経済グループ間での差は依然として大きいままであることを指摘した。例えば、アフリカ地域では、ワクチン接種を完了した人の割合は 10 人中 1 人にも満たないのに対し、高所得国を中心とした 22 カ国では 5 人に 4 人がワクチン接種を受けている。

IAVG は、利用可能なワクチンの優先使用状況が、本戦略の目標と一致しないことを懸念している。

**供給量は増えるが不確実性も増す** - 2022 年半ばまでには、世界人口の 70%に 3 回のワクチン接種を行うのに十分な量の COVID-19 ワクチンが世界に供給されると予想されているが[11]、不確実な要素も多く存在する。これらには、変異株別のワクチンが必要になる可能性があること、ワクチン接種政策の変更、国によって希望するワクチン製品に偏りが生じること、複数の製品の管理に伴うプログラム上の複雑性、国レベルでの計画立案と実行のためのより良い知見の必要性などが含まれる。

オミクロン株に対応するために必要なワクチン接種の方法が不確実であることから、公平性と公正性の実現への継続的な配慮が必要になるとともに、ワクチンの分配および供給の管理にも柔軟性が求められるようになるだろう。

**脆弱性の高い人々** - 私たちの集団的な健康安全保障は、世界のあらゆる場所のあらゆる立場にいるすべての人々の健康安全保障の上に成り立っている。その中でも、人道的環境にある人々（難民、国内避難民など）は、COVID-19 への感染リスクが非常に高い状況にある[12]。これらの人々へのワクチン接種は、各国に割り当てられたワクチンで対応すべきである。

## 参考（英語）

- [1] <https://www.who.int/groups/iavg>
- [2] [https://cdn.who.int/media/docs/default-source/immunization/covid-19/strategy-to-achieve-global-covid-19-vaccination-by-mid-2022.pdf?sfvrsn=5a68433c\\_5](https://cdn.who.int/media/docs/default-source/immunization/covid-19/strategy-to-achieve-global-covid-19-vaccination-by-mid-2022.pdf?sfvrsn=5a68433c_5)
- [3] <https://covid19gap.org/assets/publications/COVID-GAP-From-Airports-to-Arms.pdf>
- [4] <https://www.who.int/publications/m/item/fair-allocation-mechanism-for-covid-19-vaccines-through-the-covax-facility>
- [5] [https://cdn.who.int/media/docs/default-source/immunization/covid-19/strategy-to-achieve-global-covid-19-vaccination-by-mid-2022.pdf?sfvrsn=5a68433c\\_5](https://cdn.who.int/media/docs/default-source/immunization/covid-19/strategy-to-achieve-global-covid-19-vaccination-by-mid-2022.pdf?sfvrsn=5a68433c_5)
- [6] <https://data.worldbank.org/indicator/SP.POP.0014.TO>
- [7] For information on the COVAX Facility's different participant modalities, please see [here](#) for AMC Participants and [here](#) for SFP Participants.
- [8] [https://cdn.who.int/media/docs/default-source/immunization/covid-19/strategy-to-achieve-global-covid-19-vaccination-by-mid-2022.pdf?sfvrsn=5a68433c\\_5](https://cdn.who.int/media/docs/default-source/immunization/covid-19/strategy-to-achieve-global-covid-19-vaccination-by-mid-2022.pdf?sfvrsn=5a68433c_5)
- [9] Coronavirus (COVID-19) Vaccinations - Statistics and Research - Our World in Data
- [10] 同上
- [11] [https://cdn.who.int/media/docs/default-source/immunization/covid-19/strategy-to-achieve-global-covid-19-vaccination-by-mid-2022.pdf?sfvrsn=5a68433c\\_5](https://cdn.who.int/media/docs/default-source/immunization/covid-19/strategy-to-achieve-global-covid-19-vaccination-by-mid-2022.pdf?sfvrsn=5a68433c_5)
- [12] <https://conflictandhealth.biomedcentral.com/articles/10.1186/s13031-020-00307-8>